

3 道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<生徒の意識>

<指導・援助>

<p>理科（6月） 「化学変化と原子・分子」 ・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、表やグラフ、原子・分子モデルの活用など、多面的・多角的に事実を分析・解釈し、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。</p>	<p>【日常の活動】 ○帰りの会 「学級の諸問題の解決」 ・学級に生じた諸問題に対して、広い視野から多面的・多角的に問題点を見つめ、解決案を具体的に提案することができる。</p>	<p>・表やグラフをどのように分析・解釈したらよいか分からない。 ・表やグラフなどを様々な角度から見つめると、新しい発見ができて楽しかった。 ・原子・分子のモデルを用いて考えると、自分が発見した法則を誰かが納得できるように説明することができた。</p>	<p>・算数・数学で学習した表やグラフの見方を示す。X軸の変化に伴うY軸の変化や、グラフの傾きに注目するなど、事実を多面的・多角的に分析することができるようにする。 ・モデルを活用して普遍的な法則が成り立つことを説明した生徒を価値付ける。</p>
<p>道徳科（6月） 「一歩ずつ 松井秀喜」 内容項目A（4） 「克己と強い意志」 ・身近な目標を定め、困難や失敗を乗り越える努力の大切さに気付き、より高い目標に向かって段階的な目標を設定し、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする心情を育てる。</p>	<p>○帰りの会 「期末テストの計画」 ・より高い目標を設定し、その実現に向けて、段階的に取り組むことができる具体的な学習内容と取組方法を書きまとめることができる。</p>	<p>・自分は一つの情報から短絡的に判断をしていた。〇〇さんの意見のように、広い視点から物事を見つめることが大切だ。</p>	<p>・学級で生じた諸問題に対して、広い視野から解決案を提案した生徒の姿勢を価値付けるとともに、その生徒の思いを引き出す。</p>
<p>道徳科（6月末～7月初） 「真理を求めて」（津田左右吉） 内容項目A（5）「真理の探究、創造」 ・広い視野に立って様々な視点や角度から物事を見つめ続ける姿勢が、新たな発見や見方、考え方を身に付けることにつながることに気付き、よりよい生き方や社会を求めて真理を探究しようとする態度を育む。</p>		<p>・テストでよい点数は取りたいけれど、期末テストの勉強は面倒だ。 ・松井秀喜のように、自分にできる小さな目標を立てよう。1週間ごとの目標と取り組む具体的な学習内容を明らかにした計画を立てよう。</p>	<p>・1週間単位で小さな目標、具体的な学習内容を計画できるプリントを配布する。 ・理想に向けて努力した足跡が認識できるようにすることで、困難に直面した際に挫折して諦めることがないようにする。</p>
<p>学級活動（7月） 「夏休みの自由研究 計画立案」 ・夏休みをかけて粘り強く取り組み、新しい発見や、新たな見方や考え方の獲得ができるように、多面的・多角的に物事を見つめ段階的に取り組める具体的な計画を立案することができる。</p>		<p>・僕はすぐに解決を急いで決め付けしまうから、広い視野で見つめ、新しい発見ができる生き方をしていきたい。 ・真理の探究によって新しい発見や、新しい見方や考え方ができるようになることが、人生をよりよくすることが分かった。</p>	<p>・問題解決的な学習を行い、自己の生き方に関する課題に積極的に向き合えるようにする。 ・「主人公の生き方をどう思うか」と発問することで、真理を探究する津田左右吉の生き方に対する自分の感じ方や考え方向き合うことができるようにする。</p>
		<p>・多少の困難があっても挫折することなく、新しい発見ができるように、広い視野から研究を進めていきたい。</p>	<p>・内容項目「克己と強い意志」「真理の探究創造」の2つの視点で、夏休みの自由研究の計画づくりを見届ける。</p>